

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル東工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	「客土掘削 土砂A1」と「捨土掘削 土砂A1」は数量が同じですが、同じもの（本線掘削土）を示しているのでしょうか。	捨土掘削 土砂A1にて新得地区ずり仮置き場に仮置きした土を客土掘削 土砂A1にて盛土することを想定しております。 なお、数量については誤りがありましたので、後日訂正致します。
2	金抜設計書：番号30(型枠 T)の数量について 閲覧(貸与)資料01_狩勝第二トンネル詳細設計 REPORT11 (P29-2)トンネル型わく数量集計表(1)(アーチ部)から算出していると思われま す。 しかし、CI-a(H)-1-BおよびDI-a(H)-2-B、DIIIa(H)-2-B、DIIIa(H)-3-Bの①型わく周長は覆工防水工周長が記載されているのではない でしょうか。 上記各断面パターンの型枠周長はCI-a(H)-1-B、DI-a(H)-2-Bは20.805mおよびDIIIa(H)-2-B、DIIIa(H)-3-Bは20.762m と思われま すがご教示願 います。	CI-a(H)-1-B、DI-a(H)-2-Bの型わく周長は20.805m、DIIIa(H)-2-B、DIIIa(H)-3-Bの型枠周長は20.762mが正となり、型わくTは26,250.5m ² が正となります。
3	金抜設計書：番号31(型枠 T(L))の数量について 閲覧(貸与)資料01_狩勝第二トンネル詳細設計 REPORT11 (P29-3)トンネル型わく数量集計表(2)(アーチ部)から算出していると思われま す。 しかし、CI-B-L(H)およびCII-B-L(H)の①型わく周長は覆工防水工周長が記載されているのではない でしょうか。 上記各断面パターン の型枠周長は両断面パターンとも23.119mと思われま すがご教示願 います。	CI-B-L(H)およびCII-B-L(H)の型わく周長は、23.119mが正となり、型わくT(L)は1,433.4m ² が正となります。

番号	質問事項	回答
4	<p>金抜設計書：番号33(鉄筋 A)の数量について 数量明細表(3/10)鉄筋Aのうち坑門工の数量が24.547tと記載されています。 しかし、設計図(トンネル工)38/88・41/88・44/88に記載されている鉄筋質量表を合算すると、D13：1.094t、D16～D25：20.575t、D29～D32：20.094t、合計：41.763tとなります。 どちらの数量が正しいのかご教示願います。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>
5	<p>トンネル掘削 ⑤【参考図】4/17加背割図(2)の「CⅡ-b-2-B」インバート掘削の数量は狩勝第二トンネル詳細設計より10.758m³/m。 「DⅠ-a-2-B」全断面掘削及びインバート掘削の数量は狩勝第二トンネル詳細設計より全断面掘削(設計)77.485m³/m、(支払)80.902m³/m、インバート掘削11.132m³/mとなっています。 設計値と違いがありますので、ご教示お願い致します。</p>	<p>参考図の加背割図(2)「CⅡ-b(H)-2-B、DⅠ-a(H)-2-B」に誤りがありました。 狩勝第二トンネル詳細設計の数値が正となります。</p>
6	<p>数量明細表4, 5/10より「CⅠ-K-S-1」170.1m³、「CⅡ-K-S-1」166.6m³とありますが、④【設計図】32/88より掘削延長が8.980m、⑤【参考図】7/17より設計数量18.159m³/mと2件とも同じ数量です。 設計値の違いはどこにあるのでしょうか。</p>	<p>「CⅡ-K-S1」の掘削数量は170.1m³が正となります。</p>
7	<p>数量明細表4, 5/10のトンネル掘削の避難連絡坑(番号45～50)の数量の合計が623.5m³となります。 ずり処理工A1(番号68)の避難連絡坑の数量が598.8m³と違いがあります。 数量の差について、ご教示お願い致します。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>
8	<p>鉄筋 数量明細表3/11鉄筋Aの坑門工24.547tとありますが、④【設計図】38, 41, 44/88の鉄筋質量表より合計すると41.763tとなりますが、数量の差について、ご教示お願い致します。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>
9	<p>注入式長尺鋼管先受工 数量明細表9/10より注入式長尺鋼管先受工が189本とありますが、④【設計図】29/88より8スパンの27本打設で216本ではないのでしょうか。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>

番号	質問事項	回答
10	金抜設計書：番号68(ずり処理工 A1)および番号69(ずり処理工 A2)の数量について、合算すると118,639m ³ となります。 しかし、番号36(トンネル掘削 CI-a-1-B)から番号50(トンネル掘削 CII-K-S2)の数量を合算すると119,153m ³ となり差異があります。 正しい、ずり処理工数量およびトンネル掘削数量をご教示願います。	令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。